

令和 5年 7月 3日

報道機関 各位

2023年度 富山大学教育学部授業  
子どもとのふれあい体験 「歴史研究相談員」コース  
シリーズ歴史研究のタネみつけ！1  
：文化財の未来をつくる

このたび、本学教育学部授業「子どもとのふれあい体験」のうち「歴史研究相談員コース」による活動の一環として、標記の企画を実施する予定です。地域の大学・小学校・歴史施設の連携による、教育および地域史跡活用に関わる活動です。

つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。取材に際しては、事前に下記、お問い合わせ先へご連絡ください。

## ■日時・場所

### ①史跡自体（歴史や史跡の価値）について学ぶ

日時：令和5年7月5日（水）13：30～14：15

場所：安田城跡歴史の広場（〒939-275 富山市婦中町安田 244-1）

史跡自体（歴史や史跡の価値）について学ぶ。

### ②史跡の再整備のアイデアを考える

日時：令和5年7月12日（水）13：30～14：15

場所：富山市立朝日小学校（〒939-2758 富山市婦中町下条 5518）

## ■概要

### ・「歴史研究相談員コース」全体のコンセプト

子どもだからこそ持っている、発見できる「研究のタネ」があるはずである。このコースでは、特に歴史研究の側面から、そうした子どもたちによる「研究のタネ」の発見や育成のサポート役を経験する。子どもが主役、学生は相談員（助手）という意識で臨み、相談員は、子どもの興味関心や主体的な活動を尊重した手助けをするよう心がける。

### ・今回の企画の概要とねらい

①史跡安田城跡に関する歴史や史跡の価値を学ぶ。

②現在、上記史跡の再整備事業が実施中である状況をふまえ、子どもたちによる「再整備検討会議」を行い、さまざまなアイデアを出す。

→単に地域の史跡やその再整備事業について知るだけでなく、史跡の再整備の仕方や将来について自分たちなりに考え、表現することで、より主体的な学びにつながるのではないか。

■実施体制

富山市立朝日小学校との共同による実施（富山大学教育学部授業かつ富山市立朝日小学校6年生の「総合的な学習の時間」として）

■協力

富山市埋蔵文化財センター

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学学術研究部教育学系 准教授 中村只吾（授業担当教員）

TEL : 076-445-6274(直通) Email : nakashin@edu.u-toyama.ac.jp